

科目名	現代社会と家族機能					開講 キャンパス	神 園
担当者	酒 井 出						
開講年次	1	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	第二次世界大戦後の日本の家族の変化と家族問題を社会的に理解することを目標とする。 具体的には、現代家族の捉え方、伝統的家族の捉え方、家族の役割構造、勢力構造、情緒構造等の家族の内部構造、子どもの養育、老親の扶養等の現代社会と家族の機能、第二次世界大戦後の産業化、近代化の進展による家族形態の変化や家族機能の変化について講義する。						
授 業 の 到達目標	1) 現代家族の捉え方を理解できるようにする。 2) 伝統的家族の捉え方を理解できるようにする。 3) 家族の内部構造（役割構造、勢力構造、情緒構造）について理解できるようにする。 4) 子どもの養育について理解し、自分の考えが述べられるようにする。 5) 老人の扶養について理解し、自分の考えが述べられるようにする。 6) 家族形態や家族機能の変化について理解し、今後の対策等について意見が言えるようにする。 7) 他人の意見を尊重し、具体的家族現象について議論が行えるようにする。 8) これまで学んだことの中から、自らテーマを選んでレポートが作成できるようになる。						
学習方法	講義とディスカッション						
テキスト及び参考書等							
評価基準・方法	到達目標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	◎			50		
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎				30		
授業態度			◎		10		
受講者の発表				◎	10		
授業への参加度							
その他							
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	現代家族と家族（ガイダンス）						
第 2 週	現代家族の捉え方						
第 3 週	「家」制度と伝統的日本の家族の捉え方						
第 4 週	現代家族の捉え方現状と課題						
第 5 週	復習とまとめ（現代家族と伝統的家族）						
第 6 週	ライフサイクル						
第 7 週	家族の役割構造						
第 8 週	家族の勢力構造						
第 9 週	家族の情緒構造						
第 10 週	復習とまとめ（家族構造について）						
第 11 週	子どもの養育と社会化						
第 12 週	老親の扶養						
第 13 週	家族形態の変化						
第 14 週	家族機能の変化						
第 15 週	復習とまとめ（家族形態の変化について）						
第 16 週	定期試験						
備 考	事前学習：予習課題を前の週の講義時に配布するので課題をやってくる。 事後学習：予習課題を添削して返す。						